



札私幼

発行

一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
札幌市西区宮の沢1条1
札幌市生涯学習総合センター内
TEL011-671-3590
FAX011-671-3591
<http://www.s-youchien.or.jp/>
info@s-youchien.or.jp

平成25年度代表者会議・定時総会

5月14日(火)札幌ガーデンパレスにて平成25年度代表者会議及び定時総会が開催されました。代表者会議では、2月の代表者会議に引き続き、遊育吉田編集長による「子ども子育て新制度の最新情報」を前田会長・丸谷副会長と今後の課題で御講演頂きました。



定時総会では、丸谷副会長の司会進行のもと、前田会長のご挨拶をいただきました。来賓からは、子ども未来局長大谷内局長、白井PTA会長より御挨拶をいた

されました。札幌市教育委員会大友部長から平成25年度の体制についてご紹介があり幼児教育センター松田課長をはじめ職員のご紹介をいただきました。



澤田振興委員より定足数の確認が行われ出席者の中より北野白樺幼稚園理事長・園長 大谷和彦先生が議長に選任され議事進行となりました。

第1号議案 平成24年度事業報告及び決算承認の件
事業報告について各委員会より、一般

計収支計算書決算報告・災害基金特別会計収支計算書決算報告について榊澤専務理事より説明があり監事の宮の森幼稚園園長阿部聖和先生より監査報告が行われ、賛成多数で承認可決いたしました。

第2号議案 理事選任の件
退任に伴う理事の選任が行われ北区より推薦の新川幼稚園齊藤保子先生の就任が可決されました。



第3号議案 その他 につきましては、決議事項がなく 全ての議事が終了いたしました。司馬副会長の閉会の言葉により平成25年度定時総会を閉会いたしました。

札幌市私立幼稚園PTA連合会 ふれあい交流会 スポーツ大会

7月恒例の札幌市私立幼稚園PTA連合会ふれあい交流会・スポーツ大会・イコール運動結集大会が7月4日(木)月寒グリーンドームにて行われました。113チームが参加した玉入れの結果は、次のとおりとなりました。



1位 手稲区 星の子幼稚園

スカイブルースターズ

2位 北区 茨戸メリー幼稚園

アンパンマン

3位 手稲区 星の子幼稚園

ブルースターズ

4位 東区 札苗幼稚園

札苗ふたば会

5位 厚別区 認定こども園いちい

ふきのとう

(上位5チーム掲載)

気迫のこもった熱戦となりました。札私幼ホームページでも順位を確認することができます。

今想 リターンズ

園外での活動で一番困るのは、お天気の問題です。その時間まで悩んでしまうこともあります。前日から、雨が降りそうだから、気温が低そうだからと延期を早く決めてしまうこともあると思います。予定した日が総合的に一番よく表現できるように子ども達と考えて組み立ててくると、一日ずれても意欲を高めていくのに時間がかかってしまいます。なるべく予定通りに行いたいものです。

子ども達も先生も、お天気になることを願って、てるてる坊主をつくることがあります。ティッシュペーパーを丸めて、顔をつくり、首のところに細くして、洋服のところを広げてつり上げます。顔は書かないと言われていますが、のっぺらぼうで嫌だなど思う人たちの中には、顔を書く人もいます。

てるてる坊主とは、江戸時代(一説には平安時代ともいわれています)ころに、中国から伝わってきた風習といわれ、入ってきた時には、女の子だったそうです。白い顔で、赤い洋服を着ていて、ほうきを持ち、ほうきで雨雲を掃き、晴れの気と呼ぶものとされていきました。

日本に入ってきた時には、「てるてる坊主」となり、坊主+僧侶というイメージだったのだらうと思います。そのため日本にのてる坊主は、男の子となっています。てるてる坊主にお天気になるようお願いして、天気になったら瞳を書き入れて、お酒を添えて川に流したそうです。天気が悪いと、瞳を入れずに川に流したとのこと。



てるてる坊主

(作詞 浅原鏡村 作曲 中山晋平)

1. てるてる坊主 てる坊主 あした天気にしておくれ
いつかの夢の 空のよに 晴れたら金の鈴あげよ

2. てるてる坊主 てる坊主 あした天気にしておくれ
私の願いを 聞いたなら 甘いお酒をたんと飲ましょ

3. てるてる坊主 てる坊主 あした天気にしておくれ
それでも曇って 泣いてたら そなたの首を チョンと切るぞ

この童謡は、「てるてる坊主 てる坊主 あした天気にしておくれ」と自然に出てきますが、3番になると残酷すぎるので、1・2番だけを子ども達と歌うこともあります。省略する・しないも子ども達にとってという視点から、考えていきたいものです。「てるてる坊主 てる坊主 あした天気にしておくれ」

この文章は、なかのしま幼稚園園長芝木捷子先生より御寄稿いただきました。不定期ではございますが、皆様からご寄稿いただいた文章を掲載するコーナーを作りたいと思っております。たくさんのご参加、ご寄稿を頂きますようお願いいたします。

政令都市私立幼稚園 団体協議会横浜大会

7月11日(木)～12日(金)にかけて、第53回政令指定都市私立幼稚園団体協議会横浜大会が、横浜ロイヤルパークホテルにて行われました。



12時20分より公益法人横浜市幼稚園協会会長の木元茂氏のあいさつや横浜市長の林文子氏の祝辞などにより華やかに開会式が開催されました。

1日目のプログラムは、各政令指定都市の行政職より幼稚園運営にかかわる取り組みの報告を受け、各都市の情報を細かく収集できる良い機会となりました。

札幌が発表した際は、札幌市子ども未来局子育て支援部子育て支援課課長の竹村真一氏が担当され、札私幼と協力して特別支援教育事業や待機児童対策などの、様々な施策を考え進めている点をお話しいただきました。

その後、ノンフィクション作家として有名な柳田邦男氏の講演が行われ、子どもの秘めている可能性をもっと大人が知ること、命の大切さや生きる希望につながる話や絵本の紹介などがあり、とても考えさせられる機会となりました。



2日目は、分科会による研修で、第1分科会は、子ども子育て新制度による平成27年度以降の政令指定都市の私立幼稚園の対処について。第2分科会は私立幼稚園における防災対策を考える。第3分科会は、小学校との接続を通して幼児期の子どもたちを考える。第4分科会は、健やかな子どもたちの成長と、幼児期の子

もを持つ保護者の子育て支援を考える。第5分科会は各団体の事務局がそれぞれ情報交換を行いました。

7月上旬にもかかわらず、関東の気候は湿度と気温が高く猛烈な不快感はありましたが、会議の内容はとても有意義で今後の札私幼運営に生かせる内容が多くあったと感じました。特に行政と密接な関係で、就園奨励費の独自上積みやその他入園促進等の支援をいただいている都市もあれば、大阪のように出席すらしない(できない)行政もありました。札私幼としましても、より行政との連携をしっかりと図り幼稚園の振興に努めていかなければと考えます。

園紹介アラカルト

認定こども園まなび

まなび幼稚園 園長 橋本章夫



本園は、平成23年に認定こども園まなびとして開園幼稚園・保育園・子育て支援の三つの機能を併せ持った園です。0歳児から就学前の子どもの一貫した保育・教育を行い、三才以上の保育園児も幼稚園児と一緒に、学級編成された中で幼児教育を受けることができます。

「優しい心をもち、生き生きと活動する子」を教育目標に掲げ、「体力づくり」「食育」「豊かな遊び」の三つを重点として、毎日の保育に力を注いでいます。「豊かなあそび」では、自ら好きな遊びを見つけ、没頭して楽しむこと、更にごっこ遊びなどを通して友だちと遊ぶ子との楽しさを味わい、お互いに信頼・共感する気持ちを育てています。遊びの中で楽しみ、試し、工夫し、見通しを持つという一連のサイクルを通し子ども自身が遊びを発展させていく時に産まれる思考・言葉・表現・創造の土台、すなわち「学びの芽生え」を育んで行くことを目指しています。

「体力づくり」では、園独自のプログラムをもとにした健康づくりの他に、「てくてくウォーキング」や円山登山、そして、外部の指導員の協力を得て基礎体力作りに取り組んでいます。中でも「てくてくウォーキング」は、滝野フィールドを使い、年少は一キロメートル、年中は一六キロメートル、年長は三キロメートルを歩きます。自然の中に入り見たことのない植物や昆虫と触れ合いながらのウォーキングは人気のプログラムの一つになっています。

三つ目の重点は、「食育」です。本年の給食は、0歳児から5歳児まで園の調理室で作ります。安心・安全をもとに食べ物に興味を持ち、楽しい給食の時間が体の栄養はもとより、心の栄養にもなる

ような大切な時間として過ごしています。子ども達は毎日の給食をとても楽しみにしており、殆ど残すこともなく食べる事ができます。おかわりをする子どもも多く、大きな食缶が空になります。栄養士も各教室にまわり、園児達に食材のことを話、好き嫌いをなく食べられるような働きかけをしています。

私達保育者は、一人一人の育ちを確かなものとするよう「子どもの育ち」を明確にした「個人カルテ」の活用に取り組んでいます。このカルテは、年少から年長まで卒園するまでの三年間活用するもので、各期毎の育ちが五領域の発達段階に合った視点で補えられています。参観日や個人懇談、家庭訪問を通して「どう育ってきたか」「これからどう育ってほしいか」保護者と教師がお互いに共有し次へのステップへと育んでいきます。保護者との信頼関係は、子どもの変容した姿を見、感じてもらう事で更に深まっていくと考えられています。



あいの里大藤幼稚園

園長 大坂 克之



本園は、学校法人大藤学園の七番目の幼稚園として平成七年四月に開園しました。学園の理念「未来創る子どもたちへ、人間としての基礎づくり」、教育目標「体・知・心の総合発達」の下、本園の方針と五つの基本目標を次のように掲げております。

教育方針
自ら育つ子ども（自己教育力・自己成長力のある子ども）をめざして

- ・五つの基本目標
- ・子どもたちの感動と自己肯定感を大切にすの幼稚園
- ・しなやかでたくましい「からだ」の育ちを大切にすの幼稚園
- ・子ども一人ひとりの発達に添い、適切な教育を大切にすの幼稚園
- ・子ども・保護者・教職員が共に育ち合うヒューマン溢れた幼稚園
- ・地域交流・地域開放等地域と密接な関係をもち、安心安全な幼稚園



この旗の下、子どもたちの自己選択自己決定を大切にし、発達に心配のある子どもたちも受け入れたインクルーシブ教育を行ってまいります。また、自然に恵まれた本園の環境でのあそびを大切に、さらに「子ども自らの気付き」を重視した子どもたちとの交わりを心がけています。また、さまざまな園外保育、マラソンやサッカー、音楽を中心とした表現活動等を通して、豊かな「感性」からたどる「集中力の育ち」に深く配慮しております。「オヤジの会」も設立され活動も軌道にノリ始めてきました。ママ友だけでなくパパ友も構成されはじめ、幼稚園内にも男の匂いが...

また、子育て支援としての「預かり保育」も午後六時半まで行っており、本年度より異年齢保育と位置付け、正規教員による教育活動を展開し、さらなる充実を図っています。

夢を風にのせて... 夢を雲にのせて... 夢を虹にのせて... 夢を心に秘めて... (園歌の歌詩より)

連合会 日誌

- 四月十日(水) 決算監査
- 四月十六日(火) 市議会副議長勉強会
- 四月二十四日(水) 第一回理事会・総務委員会 市議会議長勉強会
- 五月八日(水) 振興委員会
- 五月九日(木) 教育長勉強会
- 五月十日(金) 研究委員会
- 五月十三日(月) 広報委員会
- 五月十四日(火) 定時総会(札幌ガーデンパレス)
- 五月十七日(金) 第二回理事会・総務委員会 代表者会議
- 五月十七日(金) 札幌幼児教育セミナー
- 五月二十一日(火) 市長懇談会
- 五月二十二日(水) リーダー「力」スキルアップ講座
- 五月二十三日(木) 総務委員会 研究委員会
- 六月十一日(火) 公開保育担当園会議
- 六月十三日(木) 総務委員会 学事課勉強会
- 六月二十日(水) 道議勉強会
- 六月二十一日(木) 市議会副議長、市議勉強会
- 七月十一日(木) 政令都市私立幼稚園団体協議会 (横浜大会)
- 七月十六日(火) 第三回理事会・総務委員会
- 七月二十五日(火) 広報委員会
- 七月二十九日(月) 新採研宿泊研修(山の家) (八月一日(木))
- 八月一〜六日 幼稚園パネル展 (札幌駅前通り地下歩行空間)
- 八月二十九日(木)〜三十日(金) 政令指定都市団体協議会 次世代交流会千葉大会
- 八月三十一日(土) 八月三十一日(土) (大通高校講堂他)

札私幼 コラム

7月に入り 気温が高くなりました。お天気のいい日は泥んこ遊びや水遊びを楽しむ子ども達。ダイナミックに遊ぶ年長さんの傍らで始めは恐る恐る遊んでいた年少さんも、お兄さんやお姉さんの遊びを真似て水遊びを満喫できるようになりました。

4月から新入園児のお世話をしてくれた年長さん。きっと、自分達も優しくしてもらった経験があるからこそ、出来る事なのだなあと感じています。お世話をしている姿をみていると... あれあれ?? 担任の〇〇先生や△△先生に口調も仕事もそっくりです。こんな光景は良く目にする事ではありますが、そのたびに微笑ましくもドキッとさせられてしまいます。「子は親の鏡」とは言いますが、先生も同じですね。「お家で幼稚園ごっこをしていると幼稚園や先生の事が良く分かります。」と保護者の方に言われる事もしばしばです。

毎日の子ども達の関わりの中で、子ども達に影響を与える存在として意識していかなければとこんな時に痛感します。その反面、子ども達の心に自分の行動が響いてくれているのだと嬉しく感じるのも事実です。

さあ、いよいよ夏休み。子ども達のパワーに負けないよう、そして子ども達の良い鏡になれるよう私たちも研修やリフレッシュ等、充実した夏休みを過ごしましょう。

広報委員 太田 真理